

東西の交通の要衝として発展へ

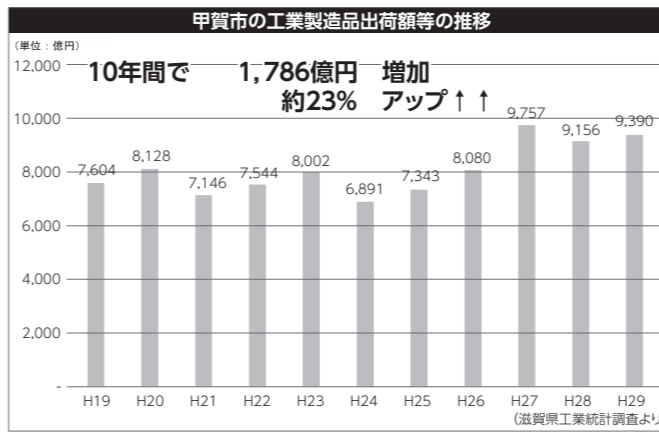
内陸型の工業団地として
関西有数の発展
12年連続工業製品出荷額
滋賀県1位

新名神高速道路は、市内に3カ所のインターチェンジが設置されるなど、広域的な自動車アクセスに恵まれており、甲賀市は生産拠点として理想的な地域です。



この恵まれた立地特性を活かし、市内にある11の工業団地を中心に多くのものづくり企業が立地しています。

また、本市の製造品出荷額は、県内で12年連続1位を達成しており、新名神開通後10年間の本市の出荷額を見ても1,786億円、約23%増え、関西有数の内陸工業団地として着実な発展を遂げています。

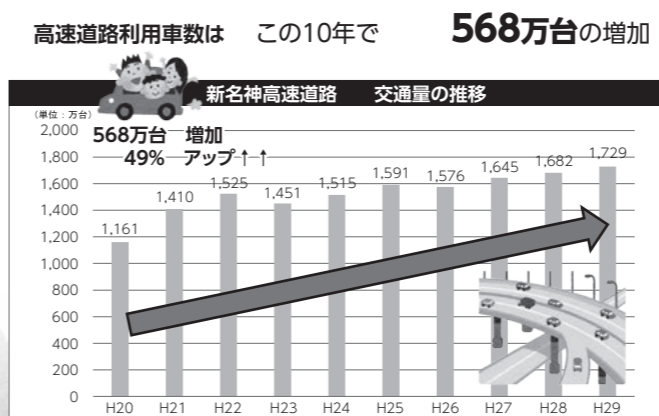


新名神高速道路が開通し10年が経ち、関西圏と中部圏間の移動時間短縮などの交通機能の向上を通じて、市内の工業・観光など諸産業の活性化や、行動圏の拡大による日常活動の活発化をもたらす、地域の活性化に大きな成果を上げています。

利用車台数も着実な伸び

通行量は、開通前に予想された1日平均1万4千台を大きく上回り、約5万台/日の車両が通行しています。

この10年間で、568万台も増加し、平成20年の台数からは約49%増えています。



新名神高速道路の開通に伴い、沿線地域から医療施設等への救急搬送が高速道路利用に転換しました。搬送時間の短縮や揺れ、振動など搬送者の負担軽減、また帰省時間にも大幅に短縮され救急車不在となる時間が短くなるなど住民サービスの向上につながっています。

神戸から四日市をつなぐ新名神高速道路が全線開通

新名神高速道路は、2018年度中には、四日市JCTから亀山西JCT区間が開通し、2023年度には、大津JCT(仮称)から城陽JCT、高槻JCTから八幡京田辺JCT区間が開通予定です。神戸から四日市をつなぐ新名神高速道路が全線開通することで、「関西圏・中部圏」からより多くの観光客の迎え入れなど、東西の交通の要衝という立地条件を生かした更なる経済効果が期待されます。

オール甲賀で

考える 甲賀の未来 タウンミーティング 市長と語ろう

今回のテーマは 「財政見通し」公共施設のあり方

市民、地域、事業所など、皆さんと「まちの課題」を共有し、次世代につなぐ「まちの未来」を市長と語り合うタウンミーティングを開催します。

今回は「財政見通し」公共施設のあり方をテーマとします。



- 【開催日時・場所】
- 12月15日(土) 10時～11時30分
かえで会館
 - 12月16日(日) 14時～15時30分
水口社会福祉センター
 - 12月18日(火) 19時30分～21時
信楽伝統産業会館
 - 12月23日(日) 10時～11時30分
水口社会福祉センター

申し込み不要
※当日、直接会場にお越しください。
※この会場でも参加できます。

●問い合わせ
政策推進課 オール甲賀推進室
☎69-21106 ☎63-4554

誰もが交流でき、誰もが気軽に利用できるみんなの場所 甲賀市まちづくり活動センター愛称募集

市民のまちづくり活動の拠点施設として、甲賀警察署の北側に整備を進めている「甲賀市まちづくり活動センター(仮称)甲賀市まちづくりコア・ステーション」が、まちづくりに取り組まれている皆さんをはじめ、広く市民の皆さんに親しみやすく、利用しやすい施設となるよう愛称を募集します。

- 応募期間
12月21日(金)まで
- 応募資格
市内在住、在勤、在学の方。ただし、個人での応募のみとします。
- 応募作品の条件
 - ・愛称は、短い表現で、覚えやすく親しみやすいものであること。
 - ・「市民が集い交流し、学び合い、新しい何かが生まれる場」をイメージしたもの。
 - ・自作の未発表のもので、他者の商標権など、知的財産権を侵害しないもの。
- 応募方法
 - ・地域コミュニティ推進課および各地域市民センターに設置された応募用紙(市ホームページからダウンロード可)を使用し、郵送がFAXまたはEメールで右記まで提出してください。
 - ・応募数は、一人一作品とします。
 - ・応募作品に対する思いや意味を200字以内で記述してください。

- 結果発表等
 - ・広報こうか、市ホームページ等で発表し、採用された方は、開館記念行事等で表彰を行います。
 - ・詳しくは、市ホームページをご覧ください。

●問い合わせ・応募先●
地域コミュニティ推進課 地域コミュニティ推進係
〒528-8502 甲賀市水口町水口6053番地
甲賀市まちづくり活動センター愛称募集係 宛
☎69-2113 ☎63-4554
✉koka10044000@city.koka.lg.jp

